



Photography

輝き・やすらぎ・賑わい



塩の道

編集後記

新年を迎え、新たな決意で日々、充実の毎日を送られていくことを思います。

世界では、金融危機、環境問題など大きな難題を抱えての新年でした。国内にあっても、同様の難題に直面することから、派遣社員解雇問題や、相次ぐタクシー強盗など悲惨な事件も発生しました。人間の心まで病んでいるのではないかと悲しい思いも致します。

すべての国民は、安心・安全・安定を強く求めています。金融危機による国内経済の動向、地域社会の治安や環境問題・食品・健康に至るまで、一日も早い安定した日本の姿を待ち望んでいます。本市に目を移すと、

少子高齢化対策など厳しい財政状況での市政運営が強いられます。市民生活に直接、影響を及ぼす問題も山積していると思います。厳しい時代を迎えたからこそ「自考」「自行」「自助」「公助」「共助」

この言葉を胸に刻み、言葉の持つ意味をかみしめ前進していきたいものです。

みんなで知恵を出し合い、力を合わせ平成二十一年が、苦しくても、辛くても、振り返った時に「充実した一年だった」と言える、そんな一年でありたいと思います。そして、市民の皆さんにも、そうあってほしいと心より願う次第でございます。(H)